

環境活動レポート

(2014年4月～2015年3月)



2015年6月15日 発行

(株)長谷川製作所

目次

1.	事業の概要	3
2.	環境方針	4
3.	EA 21 実施体制	5
4.	環境目標及びその結果	6
5.	環境活動計画	7
6.	環境活動計画実施状況	8
7.	環境活動の取組結果とその評価	9
8.	環境関連法規等とりまとめ表兼遵守評価結果	10-11
9.	代表者による評価	12

事業の概要

- (1) 事業所の名称及び代表者名
株式会社 長谷川製作所
代表取締役 長谷川 正
- (2) 所在地
埼玉県川越市下小坂 52
- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
責任者 製造課主任 杉山 剛 TEL 049-233-1021
- (4) 事業内容
電設用資材の製造・販売
照明機器の製造・販売
建築用外壁システムの製造・販売
- (5) 主要製品
仮設電気工事用「分岐ケーブル・分岐ソケット」
「提灯コード」
移動式仮設照明器具「パノラマスタンド」
シールド工事用「ポールランタン」
「アクリル照明グローブ」
乾式タイル貼工法「カーニバル」
- (6) 事業の規模
製品出荷額 7億6,100万円(2014年度)
従業員数 正社員 15名 パート・契約・派遣社員 15名 計30名
建坪 2,450m² (敷地 3,300m²)
- (7) 事業年度
4月～翌年3月

環境方針

長谷川製作所は、地球環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、全ての企業活動・製品・サービスにおいて、環境負荷の軽減を目指します。

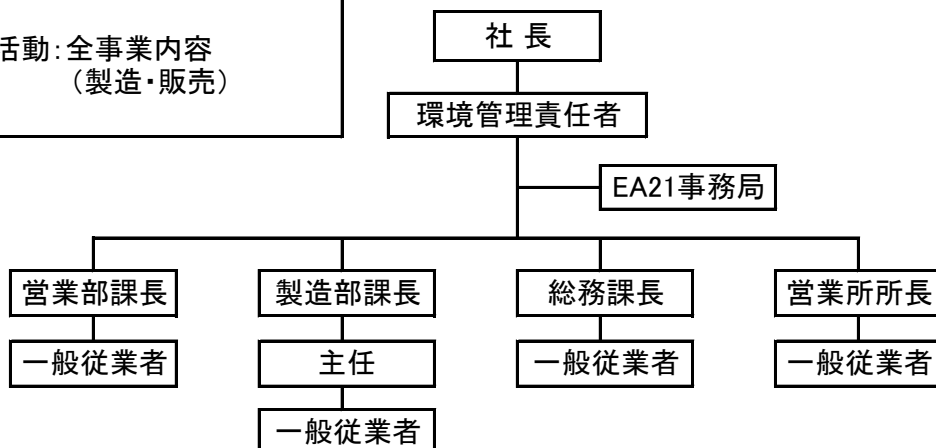
1. 企業活動に伴う環境負荷を軽減するために次の取組を行います。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
 - ②分別排出等により再資源化と廃棄物の削減
 - ③節水による水使用量の削減
 - ④エコロジー製品の開発・販売
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥化学薬品管理の充実
 - ⑦廃棄物の適正処理の実行
2. 事業活動に伴う環境関連法規等を遵守します。
3. 教育・訓練により、従業員の環境に関する知識と意識を高めます。
4. 環境方針を公開し、全従業員に周知します。

2013年5月15日制定

株式会社 長谷川製作所
代表取締役 長谷川 正

EA21 実施体制

登録の範囲 対象組織: 全社(営業所を含む) 事業活動: 全事業内容 (製造・販売)	承認日	2014 年 4 月 7 日	
	承認者	長谷川 正	承認印



役割	主な責任と権限
社長	1.環境方針の制定 2.環境責任者の指名 3.経営資源(人、設備、情報等)の提供 4.EA21取組状況の評価と改善の指示 5.環境目標、環境活動計画書策定時の承認
環境管理責任者 (環境責任者)	1.EA21の構築と運用 2.環境関連法規等及び遵法性評価 3.環境目標と環境活動計画の実施状況の検討 4.コミュニケーション記録、是正・予防記録の承認 5.社長にEA21の運用状況の報告
EA21事務局	1.EA21の周知、徹底と教育の計画 2.活動計画の討議、目標のフォロー 3.事務局業務(文書管理、対外部の窓口) 4.手順書の承認
課長(所長)	1.自部門に関する目標、活動計画の実施責任 2.是正・予防の対策立案と実施責任者 3.緊急事態の訓練責任者 4.教育訓練の実施
一般従業者	1.自部門に関する目標、活動計画の実施 2.省エネ、分別排出、薬品類管理等決められた事項実施 3.緊急事態への対応

2014年度

環境活動計画書

承認印

印

2014年 4月 7日

項目	活動内容	担当者	2014年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年	2月	3月	
			4月									1月			
二酸化炭素削減	電力の削減	①冷房28℃、暖房22℃	全員				←	→				←	→		
		②クールビズの継続	杉山		←		→								
		③消灯、不要電気OFF	全員	←											→
		④既存蛍光灯照明のLED化	小野寺	←											→
	ガソリンの燃費向上	①エコドライブ	営業部	←											→
		②営業車運転前の点検		←											→
廃棄物削減	一般廃棄物	①ダンボールごみの低減	杉山	←										→	
		②紙の分別(コピー用紙等)	鷹箸	←										→	
	産業廃棄物	①金属類の分別の徹底とリサイクル	伊藤	←										→	
水使用量の削減	①漏水チェックの実施	全員	←											→	
LED製品比率向上	①LED製品ラインナップの充実	技術開発	←											→	
	②製品単価見直しによる購買意欲の向上	石黒	←											→	
歩留まり向上 (樹脂製品の歩留まり) 購入量/出荷量	①直行率の向上	鷹箸 野呂	←											→	
	②金型の修正		←											→	
グリーン購入	①再生備品類の購入	長島 米田	←											→	
	②ネット検索		←											→	
化学薬品管理	①管理手順書の整備	鷹箸 野呂	←											→	
	②化学物質使用量の低減		←											→	

6ヶ月連続未達成ならば是正処置をとる。

2014年度

環境活動内容

項目	活動内容	今年度実施できる活動	状態	今年度検討事案	記録表作成	
二酸化炭素削減	電力の削減	①冷房28℃、暖房20℃	エアコンの作動箇所を状況に応じて特定する	実施中	室温が30℃を越えた時点でエアコンの利用を許可する	-
		②クールビズの継続	作業用上着のポロシャツ化を推進する	実施中	ポロシャツの追加注文を実施する	-
		③消灯、不要電気OFF	スイッチに点灯場所表示と、作業していない場所の消灯	実施中	スイッチに節電表示する	-
			蛍光灯にON・OFFスイッチを取り付ける	実施中	交換作業を社外に委託して、同時にスイッチを取り付ける計画を立案している	-
	④既存蛍光灯照明のLED化	蛍光灯照明からLED照明に切り替える	実施中		-	
	ガソリンの燃費向上	①エコドライブ	運転に関する社内講習の実施(定期的)	実施中	エコドライブ10を実行する	-
		②営業車運転前の点検	運転点検表を作成し、点検を実施する	実施中	運転前点検を実施中	○
③正確なデータの採取		ガソリン購入時のレシートを保管する	実施中	車ごとのレシートを担当者に渡し、購入量を把握する	○	
廃棄物削減	一般廃棄物	①ダンボールごみの低減	コンテナを通い箱として活用する	実施中	部品製造会社にコンテナを送り、納入してもらう	-
		②紙の分別(コピー用紙等)	裏紙の再利用と資源ごみとしての処理を実施する	実施中	コピー用紙等の回収用トレーなどに集める	-
	産業廃棄物	①金属類の分別の徹底とリサイクル	金属の混合を避けて、リサイクル材として処理できるようにする	実施中	材質が混在する廃棄物は、出来るだけ分解処理する	-
水使用量の削減	①漏水チェックの実施	チェック項目の設定と実施を進める	実施中	担当者の選出と、役割を明確にする	○	
					-	
LED製品比率向上	①LED製品ラインナップの充実	新製品の売り込みと生産体制の確立を進める	実施中	展示会の参加で、新仕様製品のPR活動を進める	-	
	②製品単価見直しによる購買意欲の向上	製造工程におけるムダの排除と、単部品価格の低減を進める	実施中	製造工程で、不要な作業を見直す	-	
歩留まり向上 (樹脂製品の歩留まり) 購入量/出荷量	①直行率の向上	AG製造工程における不良率の低減を図る	実施中	射出成型、圧空成型工程の不良原因を特定する	○	
	②金型の修正	パーティーライン不良低減のため、金型を修正する	実施中	金型を新規製作し、不良低減を図る	-	
					-	
グリーン購入	①再生備品類の購入	備品購入の際、他にグリーン購入対応品があるかを ネット上で探してから購入を決定する	実施中	購入サイトごとにグリーン購入商品を検索する	-	
	②ネット検索	現行品とエコ商品とで比較、検討する				
化学薬品管理	①管理手順書の整備	入出庫管理台帳を作成し、保管場所に設置する	実施中	危険物倉庫を設置し、保管料を管理する	○	
	②化学物質使用量の低減	化学物質含有量の少ない塗料を選択し、低減を図る	検討中	塗料の検索と、使用しない方向を検討する	-	

環境目標及びその結果

2014年度		承認日		2014年 4月 7日			承認印		
		承認者		長谷川 正			印		
	単位	2013年度実績	2014年度		2015年度		2016年度		
		基準年度	上段:削減率	中段:目標値	下段:実績	上段:削減率	中段:目標値	下段:実績	
二酸化炭素削減	電力削減	kWh	233,402	-0.5%	221,732	-1.0%	210,062	-1.5%	
	燃費向上	km/ℓ	11.80	5%	12.39	10%	12.98	15%	
				10.82				13.57	
二酸化炭素の合計		kg-CO ₂	99,417	-1%	98,423	-2%	97,429	-3%	
				109,901				96,434	
廃棄物削減	一般廃棄物	kg	2,711	-3%	2,630	-5%	2,575	-7%	
	産業廃棄物	t	6.76	-3%	6.56	-5%	6.42	-7%	
				2.085				6.29	
水使用量の削減		m ³	436	-3%	423	-5%	414	-7%	
				391				405	
LED製品比率向上		%	38.3%	5%	40.2%	10%	42.1%	15%	
				38.15				44.0%	
歩留まり向上		%	Φ 510T直行率 実績 98.81%	0.1%	98.91%	+0.2%	99.01%	+0.3%	
				98.06%				99.11%	
グリーン購入		件	購入件数 134	5%up	141	10%up	147	15%up	
				124				161	
化学薬品管理 使用量(kg)	フタル酸ジブチル		2.27	3	2.20	6	2.13	9	
	トルエン		32.92	%	31.93	%	30.94	%	
	エチルベンゼン		4.44	削減	4.31	削減	4.17	削減	
	キシレン		35.80		34.73		33.65		
	使用量合計		75.43	目標	73.17	目標	70.90	目標	
	使用量実績	フタル酸ジブチル			36	4.76			
		トルエン				53.83			
		エチルベンゼン			%	5.92			
		キシレン			増	38.02			
		使用量合計			加	102.54			
2010年発表の東京電力の実排出係数は0.384kg-CO ₂ /kwhだが、埼玉県指定の0.386kg-CO ₂ /kwhを使用した。(会社が所在する自治体を優先した)									
2014年度の評価									
<p>廃棄物、水道使用量以外の項目は目標を達成できなかった。 要因としては、昨年度と比較して生産量の増加があり、この増減による影響を受けない形の目標設定が必要と考えています。次年度の目標設定時に今年度のデータを分析し、最適の設定をしていきます。 改善すべき点は、多少見えてきているので、それを具体的に進めて行きます。</p>									
								環境責任者印	
								印	

環境活動の取組結果とその評価

2014年度

項目		目標と実績		主な活動内容	評価及び次年度取組
二酸化炭素削減	電力の削減	目標	221,732 kWh	①冷房28℃、暖房22℃ ②クールビズの継続 ③消灯、不要電気OFF ④既存蛍光灯照明のLED化	電力量に関しては生産量の増加に伴い就業時間と設備稼働時間の増加により目標が達成出来なかった。今年度の結果を踏まえて次年度は目標の設定を見直します。
		実績	254,114 kWh		
	ガソリンの燃費向上	目標	12.39 km/ℓ	①エコドライブ ②営業車運転前の点検	
		実績	10.82 km/ℓ		
廃棄物削減	一般廃棄物	目標	2,630 kg	①ダンボールごみの低減 ②紙の分別(コピー用紙等)	ダンボールのリサイクルや紙の分別が効果的に行われたため目標達成できた。今後も継続して行う。
		実績	1,697 kg		
	産業廃棄物	目標	6.56 t	①金属類の分別の徹底とリサイクル	
		実績	2.085 t		
水使用量の削減		目標	423 m ³		トイレ等の水漏れを改善することにより目標が達成できた。次年度は注意喚起等を掲示し節水を呼びかける。
		実績	391 m ³		
LED製品比率向上		目標	40.2 %	①LED製品ラインナップの充実 ②製品単価見直しによる購買意欲の向上	弊社としてはLEDの製品をお客様へ提案をしてみました。既存品(蛍光灯)の生産数が増加したため目標に届かなかった。次年度も継続
		実績	38.15 %		
歩留まり向上 (樹脂製品の歩留まり) 購入量/出荷量		目標	98.91 %	①直行率の向上(Φ510T直行率) ②金型の修正	社内規格の見直しにより良品基準が上がり、一時的に不良品の数が増えてしまった。来年度は金型等の修正を検討し、品質の安定を図る。
		実績	98.06 %		
グリーン購入		目標	141 件	①再生備品類の購入(備品購入時に実施) ②ネット検索	是正処置を行ったが結果には繋がらなかった。次年度は再度設定を見直し、目標達成に努める。
		実績	124 件		
化学薬品管理		目標	3%削減	①管理手順書の整備 ②化学物質使用量の低減	計画的に購入していなかったために実績がかなり上がってしまった。次年度は化学薬品をしない製品への移行を考える。
		実績	36%増加		

環境責任者によるコメント(確認、評価)

全体的に評価としては非常に悪い結果となってしまいました。その大きな原因は生産数の増加により就業時間と設備の稼働時間増加によるものと考えます。次年度に関しましては目標の設定を見直し、活動していきます。

環境責任者印

印

認証者印

年度終了時

認証日
認証者

2015年5月26日
長谷川 正

印

環境関連法規等のとりまとめ表兼遵守評価結果

承認	長谷川 正
評価者	杉山 剛

評価日：2015年3月31日

遵守状態：○ 準備中・対応中：△ 不適：× ↓

適用法令・条例等	法令・条例の要求事項	条項番号	規制対象	法遵守の判断根拠 (届出文書、点検記録、監視記録等を確認)	評価
廃棄物処理法	1. 保管基準に従って保管すること。 ①廃棄物の種類の区分が明確であること。 ②60cm×60cm以上の掲示板設置 ③飛散しないようにすること。	法12条 規則8条	電線くず 廃プラ 一般ごみ	産業廃棄物発行記録表を作成し、廃棄量及び、マニフェスト B2、D、E票の返却状況をチェックしている。	○
	2. 廃棄物の運搬、処分は委託基準によること。 ①廃棄物の運搬、処分の委託は、それぞれの業の許可を受けた者に委託すること。 ②委託するときは、書面による委託契約書を締結すること。契約書は、契約終了日から5年間保存すること。	法6の2条 法12条			
	③廃棄物の運搬、処分を委託するときは、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付すること。	法12の3条			
	④マニフェストを交付したときは、運搬、処分業者からの送付期限を管理すること。 B2、D票は90日以内、E票は180日以内。A、B2、D、E票5年間保存				
	⑤毎年度、マニフェストに関する報告書を、毎年6月30日までに都道府県知事に提出すること。	法12の3条			
資源有効利用法	①自動車、パソコンの長期間使用の努力 ②製品が長期間利用されるように努力	法4条、5条	社有車、パソコン 自社製品	社有車でエコドライブ10ヵ条を実施中。	○
自動車リサイクル法	①保有自動車の長期間使用の努力 ②使用済み自動車は、引取業者への引き渡し義務 ③再資源化等預託金の預託義務	法5条 法8条 法73条	社有車	社有車1台下取りでミニバンを1台購入、老朽化のため1台廃車完了。	○
家電リサイクル法	①特定家庭用機器の長期間使用努力 ②廃棄する場合は、収集運搬する者、再商品化する者に適切な引き渡し	法6条	ユニット型エアコン TV、電気冷蔵庫	電気冷蔵庫を購入。購入した業者に収集を依頼し引渡しを完了した。	○
浄化槽法	①毎年1回の法定検査を受ける。(外観・水質・書類) ②保守点検及び清掃の実施(年1回) ③保守点検の回数は、浄化槽の種類により異なる。	法7条 法10条 法11条	浄化槽	法定検査及び、保守点検・清掃を実施している。	○
騒音規制法	①設置の届出(市町村長へ)、社長交代時は「氏名変更届」 ②騒音規制基準遵守(区域により基準異なる)	法2条、法6条 法10条	機械プレス(45t、35t) 空気圧縮機(11kW)	2013年に届出済み。本年度増設無し。	○
振動規制法	①設置の届出(市町村長へ)、社長交代時は「氏名変更届」 ②騒音規制基準遵守(区域により基準異なる)	法2条、法6条 法10条	機械プレス 空気圧縮機	2013年に届出済み。本年度増設無し。	○

使用停止後3年間保管

グリーン購入法	エコ製品購入の努力義務	法5条	購入材料、事務用品等	購入件数記録表を作成し、購入を推進中。	○
消防法(危険物) 川越地区消防組合予防条例	①少量危険物の貯蔵及び取扱の基準遵守 (火気使用禁止、容器、取扱方法、掲示板、漏洩、温度管理等)	法10条 火災予防条例30、 31条	危険物倉庫 シンナー、塗料	危険物倉庫、11/18に申請、12/8施工開始、電気系統配線が12/25~1/初、完了。	○
埼玉県生活環境保全条例	収容能力20台以上、又は500m ² 以上の駐車場の設置者、又は管理者は、アイドリングストップを掲示で周知。	条例41条	25台収納の駐車場	駐車場入口にアイドリングストップを看板にて表示済み。全社員に指導徹底している。	○

※遵守状態が×の項目は是正処置及び予防処置を行う

本記録は、3年間保存後、シュレッダーで廃棄処分

2014 年度

代表者印

代表者による評価

印

日付 2015 年 5 月 26 日

情報の収集と評価 (Input)

項目	状況	社長による評価
環境目標の達成状況 環境活動計画の実施状況	全体的な評価は悪い状況でした。生産数の増加に伴い電力使用量の増加が著しく、二酸化炭素排出量が目標達成できなかったことが大きい。	売上高が増加した由の目標未達成だが、目標立案の工夫が必要でしょう。
法規の遵守状況	消防法に関して遵守させました。これにより法規関係は全て遵守されました。	特に問題ありません。
外部からの苦情・要望	特に苦情もなく外部とのコミュニケーションも問題なく昨年度同様無事に終了致しました。	特に問題ありません。
EA21の取組状況	新たに推進リーダを4名選出し、社内のEA21活動を活発化させることができました。	更なる高い意識付けを期待します。頑張ってください。
前回の指導事項の実施状況	是正処置と産業廃棄物処理の管理を示すマニフェストの管理を徹底致しました。	特に問題ありません。

指示事項 (Output)

	見直しの要否	社長の指示
環境方針	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	特になし。
環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	目標立案に際し、新しいルール作り、基準作りが必要と感じます。
環境活動計画	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	上記新しい目標に向かって活動計画も見直しが必要と感じます。
EA21システム全般	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	特になし。
次年度の取組み		まず第一に新しい基準による新しい目標立案から始めましょう。